

第1回安曇野市行政改革推進委員会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 審議会名 | 第1回安曇野市行政改革推進委員会 |
| 2 | 日 時 | 平成24年7月24日(火) 午後3時30分から午後5時30分まで |
| 3 | 会 場 | 長野県安曇野庁舎 3階 301会議室 |
| 4 | 出席者 | 浅見委員、市川委員、猿田委員、藤原委員、降旗(富)委員、保尊委員
丸山委員、加渡委員、重田委員、降旗(幸)委員、那須委員 |
| 5 | 市側出席者 | 宮田総務部長、堀内行政改革推進室長、鎌崎同室係長、小林同室係長 |
| 6 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴人 | 0人 記者 1人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成24年7月31日 |

協 議 事 項 等

会議概要

1. 開 会 (宮田部長)
2. 委嘱書の交付 (宮澤市長から各委員へ)
3. 市長あいさつ
4. 自己紹介 (委員・事務局)
5. 会長及び副会長の選出
・委員の互選により、会長に降旗富雄委員、副会長に藤原正三委員を選出
6. 会長・副会長あいさつ
7. 議 事
8. 閉 会 (副会長)

○議事内容

会 長：本日の出席委員12人で、条例第5条第2項の規定に基づき、会議は成立していることを報告。本日の会議は公開としており、会議録も公開対象となる。議事1「行政改革推進委員会について」説明をお願いします。

事務局：資料1-1、資料1-2により説明

会 長：会議録作成と公開に関する手続き、名簿の公表について委員の皆様了解されたという事でよろしいか。

【委員了解】

会 長：続いて議事2「第2次安曇野市行財政改革大綱・実施計画の取組経過等について」事務局の説明をお願いします。

事務局：資料2・3・4により説明

会 長：質問・ご意見がありましたらお出してください。

委 員：大綱に「市民の視点に立ち、行政経営の向上を目指す」という項目があるが、民間に置き換えると企業経営となる。既に決定している定員適正化計画等の数値に対して、委員会として踏み込んで良いか。

事務局：定員の管理というのは、5年計画の定員適正化計画というものを設ける中で管理し

ている。この数値は規程値という事で、いかにこれを管理していくかという事に係ってくる。

委員：行政経営と言われるのであれば、自主財源の中に占める人件費比率を取り入れていく等の必要があると考える。その数値に踏み込む事が出来ないとするならば、参考意見としていただきたい。

会長：その他にありますか。

委員：委員として何をしたらいいのか、どのように読めばいいのかという事が分からない。私どもに何を期待されるのか教えていただきたい。

事務局：大綱の中に実施計画 28 項目がある。この実施計画に対して、9 月下旬の状況を、本委員会にお示しどの程度進んでいるのか、順調ならいいが取組が進まない場合どこに原因があるのか等を見ていただく。又は、こうすればもっと良くなるのではないか。こんな考え方をもったら等についてご意見・ご提言をいただきたいと考えている。また、年度末において、1 年間の取組状況を見ていただく中で、同様にご意見・ご提言をいただけたらと思っている。

会長：続いて議事 3 「新庁舎建設に伴う新組織見直しについて」事務局の説明をお願いします。

事務局：資料 5 により説明

会長：本委員会において昨年の 6 月から集中的に審議をさせていただいて、委員の皆様方の意見をいただいた。その後の結果という事である。委員の皆様から何かありましたらお出しください。

委員：消防団組織の見直しですが、前回委員の委員会で色々の問題があるという事をお聞きした。消防委員会は安曇野市の任意で設置されている委員会でしょうか、それとも義務で設置されているのでしょうか。先だって安曇野市の男女共同参画フォーラムで、副知事の加藤さゆりさんが、「県・国等の防災会議や危機管理の立場に、女性として参画する機会が非常に少ない。職務指定での選出が多いことにより、女性の立場での参画が少ないと思われる。皆さんどうぞ積極的に立候補して」と言われていた。去年 3 月の大震災、それから坂井村の災害等々においても女性の活躍というのは非常に大きな割合を占めている。消防委員会はどのようになっているかお伺いしたい。

事務局：安曇野市消防委員会条例により設置をしている。委員数は 12 名である。現在、女性は委員として入っていない。ご意見があった事を担当課に伝える。関連して、女性消防団員が組織されており団員は市内に 28 名である。また、安曇野市防災会議がある。現在 24 名でこれも女性の登用はないが、任期が近づいており、新たな組織には女性を入れていきたいと事務局は考えている。

会長：団体から推薦という事になると、なかなか女性が参加しにくくなる。推薦依頼の中で何とか出来ないのか。或いは、女性の方が積極的に手を上げてほしいという事でよいか。

委員：両方である。国・県においても、副知事の提案で具体的に取組まれているという事を聞いた、これは消防団だけでは無くて、男女共同参画という中で、この行政改革

の話からは離れると思うが、色々な方面で対応していただきたい。

事務局：附属機関の設置に関する指針の中で、「女性の積極的な登用を行い、一つの附属機関の女性の登用が35%以上になるように努める」となっている。各附属機関を設置する関係各課は、積極的に女性の登用を図るように申し伝えたい。

会 長：他に委員の皆さんいかがでしょうか。無いようですので、その他事務局でありましたらどうぞ。

事務局：3点についてお願いします。

① 次回開催予定

議会9月定例会終了後、10月下旬。議題は、本年度の取組み状況の中間報告を予定している。聞いてみたいテーマや必要なデータ等があったら、事前に申し出ていただければ用意する。

② 会議の持ち方について

大綱に基づく実施計画の取組状況・取組結果について総体的にご意見をいただいていたが、もう少しテーマを絞りながら意見をいただき、行財政改革に活かしていきたい。

③ 会議開催時間

参加いただくのに都合の良い曜日・時間帯等ご要望があればお聞きし、皆様の合意が得られれば、次回以降、それに沿って日程調整をしたい。

以上です。

会 長：次回の開催ですが10月下旬を予定しているという事です。質疑がありましたらお願いします。

委 員：話は少し戻るが、新本庁舎建設に伴う組織替えて、子ども支援課に社会教育を入れることになっているが、その検討経過を知りたい。公民館社会教育の中で社会教育が無くなってしまって、非常に困るという話があちこちで有る。

会 長：検討内容としては、全国的にも教育委員会と市長部局のあり方について、いろいろ出ている中で、市民にとっては、子どもを産み・育て、そして教育していくということは、一本の組織であった方が分かりやすいのではないかという意見があったように記憶している。次回、事務局で説明をお願いします。他にありますか。

委 員：進捗状況に問題がある事項等について、特化した資料作りをしていけば、自然とその中で話しが弾むと思う。

会 長：今の意見を活かしながら今後の資料作りをお願いします。次に会議の開催の曜日・時間帯ですがいかがでしょうか。よろしいですか。次回の会議日程の調整を早めにしていただきお知らせいただきたい。以上を持ちまして、本日の議事を終了させていただきます。ありがとうございました。